

2014年7月21日

海の日記念行事「海藻押し葉教室」開催報告

理事 納土 伸男

1. 日 時：2014年7月21日（月）午前11時～午後3時
 2. 場 所：東京海洋大学 2号館 309号室
 3. 開催者：東京海洋大学 海洋科学部 田中 次郎 教授 他 研究生×4名
海の森づくり推進協会 納土 横山
 4. 教室開催の目的と配布資料
 - 4-1 一般市民には馴染みの少ない海藻（草）に関心を持ってもらうために、「海の日」記念行事の一環として東京海洋大学で開催された「海藻押し葉教室」に、当協会は共催者として参加した。
 - 4-2 海藻押し葉の制作を終えた参加者に下記の資料を配布した。
 - (1)海の森づくりニューズレター（2013年009号）
 - (2)日本農産工業株式会社からの提供品
 - ・NOSAN 健康のお話（冊子）
 - ・ヨード卵ひかりんキャラクターシール
 - ・ひかりんステーションナリーセット（文房具セット）
- 用意した資料120セットは、「海藻押し葉教室」の終了30分前に全て無くなった。文房具セットは子供の参加者には好評であった。



東京海洋大学正門



海藻押し葉教室の入り口



配布資料のセット

5. 用意した海藻の種類（合計 24 種類）

緑藻類	褐藻類	紅藻類
アナアオサ	ウミウチワ	ホソバノトサカモドキ
ミル	ジョロモク	オバクサ
クロミル	サナダグサ	オニクサ
モツレミル	ホソカゴメノリ	マクサ
ナガミル		オキツノリ
ボウアオノリ		ユカリ
		ナミノハナ
		トサカマツ
		クシベニヒバ
		スギノリ
		ヒトツマツ
		ベニヒバ
		フシツナギ
		オオオゴノリ

6. 押し葉の制作

- 6-1 教室開催に当たって、田中先生から海藻押し葉の制作方法について説明が行われた。
- 6-2 作品を後日制作者の元へ郵送するために、作業を始める前に封筒と台紙に制作者の住所と名前を記入して貰う。
- 6-3 短冊形の台紙に海藻をピンセットや竹串でバットから掬い上げ、海藻の形や色などのデザインをしながら海藻押し葉の制作を行う。
- 6-4 出来上がった作品は田中研究室へ持ち帰り完全に乾燥させた後、ラミネート加工を行い後日制作者宛に郵送される。



海藻押し葉制作風景

7. まとめと今後の課題

7-1 教室への参加者は親子連れ（母親と子供）が多かった。作品送付用の封筒が 150 通となり、封筒の中へ作品が 2～3 点入れられるとすれば今回の参加者は合計 300 名程と考えられる。田中先生の話では昨年より参加者が多く過去最大の参加者となった。

7-2 関係者の負担は増えるが出来上がった作品を後日審査して、優秀作品については表彰をするようなことを考えてみると面白いかも知れない。

7-3 当協会の活動状況を紹介する資料が、会場入り口のポスターと協会発行のニュースレターだけでは質量共に不足している。以下のような資料を準備する必要がある。

- ・大型の「海の森」の水中写真パネル
- ・コンブ種糸を利用したコンブ養殖マニュアル
- ・コンブ種糸を利用したコンブ養殖の水中写真
- ・コンブ種糸の全国での使用状況
- ・壱岐や宇和島での「コンブ収穫祭」の写真
- ・海藻押し葉制作テキスト
- ・海藻押し葉大型作品（20 号程度）

乾燥中の作品の一部



以 上